



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月6日

上場会社名 中国工業株式会社 上場取引所 東証一部  
 コード番号 5974 URL <http://www.ckk-chugoku.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） 野村 實也  
 問合せ先責任者（役職名）経営管理部長（氏名） 小田 和守 TEL (0823) 72-1322  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,481	7.2	△63	—	△58	—	△73	—
26年3月期第1四半期	2,315	△2.0	△99	—	△98	—	△115	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 50百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △113百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	△21	67	—	—
26年3月期第1四半期	△34	16	—	—

※平成25年10月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
27年3月期第1四半期	9,378		3,582		35.4		979	71
26年3月期	9,841		3,481		32.8		951	67

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,319百万円 26年3月期 3,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭			
26年3月期	—	—	—	—	7.00	7.00	
27年3月期	—	—	—	—	7.00	7.00	
27年3月期(予想)	—	—	—	—	7.00	7.00	

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	4,800	0.4	△150	—	△160	—	△170	—	△50	18
通期	11,800	0.1	80	32.0	100	9.7	80	30.7	23	61

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期 1Q	3,420,000株	26年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	27年3月期 1Q	32,140株	26年3月期	32,120株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期 1Q	3,387,880株	26年3月期 1Q	3,388,226株

※平成 25 年 10 月 1 日付で 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は継続中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報に基づいたものであり、実際の業績につきましては今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想等の前提となる条件等については、〔添付資料〕3 ページ〔当四半期の連結業績等に関する定性的情報〕(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記 ) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動で足元がやや落ち込んだものの、緊急経済対策の効果により円安、株高傾向が続き、緩やかな回復基調にあります。しかしながら、中国をはじめとした新興国経済の減速や円安による原材料及びエネルギーコストの上昇等、景気の先行きには引続き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループを取り巻く事業分野も再生可能エネルギーなどエネルギー供給源の多様化等事業環境に変化が続き、また国内設備投資が昨年に引き続き低調に推移しました。

このような経済情勢のなか、当社グループは設備投資抑制などの影響により鉄構輸送機事業が減収となりましたものの、LPガス容器の需要が増大したことにより、高圧機器事業が増収となりました。この結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は 24 億 81 百万円（前年同期比 1 億 66 百万円の増収）となり、営業損失は 63 百万円（前年同期比 35 百万円の赤字縮小）、経常損失は 58 百万円（前年同期比 40 百万円の赤字縮小）、四半期純損失は 73 百万円（前年同期比 42 百万円の赤字縮小）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は、次のとおりであります。

高圧機器事業は、LPガス容器及び一般高圧ガス容器の販売数量が増加したことにより、事業全体の売上高は 13 億 75 百万円となり、前年同期を 1 億 93 百万円(16.4%)上回りました。また、セグメント利益（営業利益）は、売上高の増加により前年同期を 44 百万円上回る 56 百万円となりました。

鉄構輸送機事業は、鉄鋼メーカー向け焼鈍炉用インナーカバー及びコンベヤ設備を主体とした搬送機器の受注が減少したことにより、事業全体の売上高は 1 億 54 百万円となり、前年同期を 37 百万円(19.7%)下回りました。しかしながら、セグメント損益（営業損益）は、総コストの削減に努めました結果、前年同期のわずかな赤字から 8 百万円の黒字となりました。

施設機器事業は、畜産分野の主力製品である飼料タンクの販売数量が増加したことにより、事業全体の売上高は 2 億 41 百万円となり、前年同期を 8 百万円(3.8%)上回りました。また、セグメント損失（営業損失）は売上高の増加により、17 百万円と前年同期と比べ 2 百万円の赤字縮小となりました。

運送事業は、国内貨物輸送量が低水準で推移するなかで、顧客ニーズに積極的に対応したことにより、事業全体の売上高は 7 億 10 百万円となり、前年同期を 1 百万円(0.3%)上回りました。また、セグメント利益（営業利益）は、燃料価格の上昇などにより、前年同期を 2 百万円(18.3%)下回る 9 百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 4 億 63 百万円(4.7%)減少し、93 億 78 百万円となりました。

資産は、投資有価証券が時価の上昇により 1 億 88 百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が 7 億 9 百万円減少しました。

負債は、賞与支給予定額を主体に未払費用が 1 億 48 百万円及び前受金が 1 億 55 百万円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が 2 億 44 百万円、借入金金が 3 億 66 百万円及び退職給付に係る負債が 1 億 55 百万円それぞれ減少した結果、負債合計は 5 億 64 百万円(8.9%)減少し、57 億 96 百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が 1 億 15 百万円増加した結果、純資産合計は 1 億 1 百万円(2.9%)増加し、35 億 82 百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く国内関連業界は、景気回復の期待感はありますものの、急激な変化なく推移するものと予測されます。このような状況のなか、当社グループは収益の確保に向け売上の拡大及びあらゆるコストの削減に努めてまいり所存であります。

従いまして、第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、市況動向など不確定要素はありますが、平成 26 年 3 月期決算短信(5 月 14 日)にて発表しましたものより変更しておりません。

今後、当社グループを取り巻く国内関連業界の情勢の変化により、第 2 四半期連結累計期間及び通期業績予想について、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

#### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第 26 号 平成 24 年 5 月 17 日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 25 号 平成 24 年 5 月 17 日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第 35 項本文及び退職給付適用指針第 67 項本文に掲げられた定めについて当第 1 四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数に基づき割引率を決定する方法から退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第 37 項に定める経過的な取扱いに従って、当第 1 四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第 1 四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が 76,495 千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。なお、当第 1 四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	906,258	839,582
受取手形及び売掛金	3,374,931	2,665,644
電子記録債権	90,438	91,293
製品	142,717	168,491
仕掛品	535,453	600,850
原材料及び貯蔵品	220,519	251,781
その他	106,424	105,075
貸倒引当金	△1,534	△1,248
流動資産合計	5,375,208	4,721,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	547,403	540,742
機械装置及び運搬具（純額）	333,926	321,016
土地	2,207,049	2,207,049
リース資産（純額）	91,822	84,323
建設仮勘定	20,864	46,971
その他（純額）	14,513	20,459
有形固定資産合計	3,215,579	3,220,562
無形固定資産		
	37,843	37,405
投資その他の資産		
投資有価証券	1,091,830	1,280,164
建設協力金	19,860	18,390
その他	156,644	155,803
貸倒引当金	△55,618	△55,540
投資その他の資産合計	1,212,717	1,398,817
固定資産合計	4,466,139	4,656,785
資産合計	9,841,347	9,378,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成26年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,541,121	1,296,775
電子記録債務	462,039	436,399
短期借入金	1,902,829	1,525,646
リース債務	32,860	28,591
未払金	156,995	93,697
未払費用	85,507	233,698
未払法人税等	35,750	16,443
未払消費税等	41,953	29,683
前受金	112,285	267,874
賞与引当金	80,811	44,039
役員賞与引当金	12,000	3,000
その他	32,640	43,533
流動負債合計	4,496,794	4,019,382
固定負債		
長期借入金	376,434	387,412
リース債務	117,855	112,312
役員退職慰労引当金	75,684	75,684
退職給付に係る負債	1,116,813	960,948
その他	176,623	240,275
固定負債合計	1,863,411	1,776,633
負債合計	6,360,206	5,796,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710,000	1,710,000
資本剰余金	329,347	329,347
利益剰余金	1,035,307	1,014,889
自己株式	△80,755	△80,770
株主資本合計	2,993,899	2,973,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230,236	345,644
その他の包括利益累計額合計	230,236	345,644
少数株主持分	257,006	263,129
純資産合計	3,481,141	3,582,240
負債純資産合計	9,841,347	9,378,256

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月 30 日)
売上高	2,315,093	2,481,936
売上原価	1,923,979	2,008,232
売上総利益	391,113	473,704
販売費及び一般管理費	490,183	537,363
営業損失 (△)	△99,070	△63,659
営業外収益		
受取利息	237	180
受取配当金	3,905	2,756
助成金収入	496	5,616
その他	5,412	5,312
営業外収益合計	10,051	13,865
営業外費用		
支払利息	6,322	5,279
出向者人件費	1,604	933
その他	2,000	2,121
営業外費用合計	9,927	8,335
経常損失 (△)	△98,945	△58,128
特別利益		
固定資産売却益	-	709
特別利益合計	-	709
特別損失		
固定資産除売却損	175	243
ゴルフ会員権評価損	3,700	200
特別損失合計	3,875	443
税金等調整前四半期純損失 (△)	△102,821	△57,862
法人税、住民税及び事業税	14,166	16,352
法人税等調整額	△3,507	△3,991
法人税等合計	10,658	12,360
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△113,480	△70,223
少数株主利益	2,264	3,191
四半期純損失 (△)	△115,745	△73,415



## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△113,480	△70,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	120,956
その他の包括利益合計	79	120,956
四半期包括利益	△113,401	50,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△113,476	41,993
少数株主に係る四半期包括利益	75	8,740

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第 1 四半期連結累計期間(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 6 月 30 日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高压機器 事業	鉄構輸送機 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,181,369	192,098	232,694	708,931	2,315,093	—	2,315,093
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,611	—	—	102,228	111,840	△111,840	—
計	1,190,981	192,098	232,694	811,159	2,426,933	△111,840	2,315,093
セグメント利益又は損失(△)	12,297	△150	△19,511	11,471	4,107	△103,177	△99,070

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△103,177 千円には、セグメント間取引消去 139 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△103,316 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

## II 当第 1 四半期連結累計期間(自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高压機器 事業	鉄構輸送機 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,375,369	154,223	241,544	710,799	2,481,936	—	2,481,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,187	—	—	117,933	119,120	△119,120	—
計	1,376,556	154,223	241,544	828,732	2,601,056	△119,120	2,481,936
セグメント利益又は損失(△)	56,320	8,998	△17,067	9,370	57,621	△121,281	△63,659

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△121,281 千円には、セグメント間取引消去 226 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,507 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。